



2022年9月30日

「飯塚産業株式会社」様が「SDGs宣言書」を策定されました！
～「とうほうSDGsサポートサービス」による「SDGs宣言書」策定支援～

株式会社東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、お客さまのSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に関する取組みを支援するため、「とうほうSDGsサポートサービス（以下、本サービスとします）」をご提供しております。

この度、本サービスの利用を通じ、飯塚産業株式会社様が「SDGs宣言書」を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本サービスは、ヒアリングを通してお客さまのSDGsへの取組状況の確認と、経営課題の見える化を行うことで、お客さまの課題解決に向けた具体的な取組みをサポートしております。

また、診断結果に基づく「SDGs宣言書」の作成により、お客さまの特色ある取組みを発信するとともに、社会全体でのSDGsの機運も高めております。

当行では、引続きお客さまのニーズに応じたサービスを提供し、お客さまの成長・発展、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

発行企業名	飯塚産業 株式会社
代表者	代表取締役 飯塚 隆司
所在地	福島県二本松市宮戸66
事業内容	一般・産業廃棄物処理業
企業概要	●飯塚産業株式会社様は「笑顔の輪を広げる」の企業理念のもと、お客様や地域の皆様の幸せの実現のために取組んでおります。 ●廃棄物処理業を通じて、環境問題・社会問題を解決するとともに、地域との交流にも積極的に取組み、地域活性化に貢献しております。

以上



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。



SDGs宣言書

2022年9月30日

飯塚産業株式会社

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた取組みを以下の通り宣言します。

カテゴリ	テーマ	具体的な取組み	SDGsゴール
人権・労働	ワークライフバランス	社員一人一人がやりがいを持ちながら、仕事と家庭の両立ができる組織を目指します。 ●クラウドサービス「kintone」の導入により業務の効率化を図り、長時間労働、残業時間の削減に努めています。 ●有給休暇の他、育児・介護等の各種休暇制度を整備し、社員が豊かで健康的な生活ができることを目指します。	
	人材育成	社員が希望する資格取得を会社としてサポートしつつ、社内でもスキルアップができる環境を整備することで人材育成に努めます。 ●資格取得を会社として奨励し、必要経費の全額補助を行っています。 ●IT導入により社員同士が情報共有を行うことで、社員一人一人が能動的に考え、アイデアを出しあえる環境を整備しています。	
内部管理 組織体制	DXの推進	「kintone」によるDX化を推進し、業務効率の向上、社内の意思疎通の促進、環境に配慮した業務運営に努めています。 ●社員一人一人にタブレットを支給し、社員同士のコミュニケーション活発化や業務効率の向上を図っています。 ●IT導入によるペーパーレス化や地図データとの連携による効率的な運搬作業の実施などにより、環境に配慮した業務運営に努めています。	
製品・サービス	環境配慮設計 社会課題の解決	廃棄物処理を通じてお客様や地域の「仲間」との「笑顔の輪」が広がるサービスの提供を行います。 ●一般ゴミや産業廃棄物だけでなく、家電リサイクルや引越し不用品といった個別のお客様のニーズに合った各種廃棄物処理に対応することで、環境問題・社会問題の解決を目指しています。 ●同業他社とのパートナーシップを締結し、協力関係を構築することで、お客様に最適なサービスの提供を行っています。	
社会貢献 地域貢献	地域経済への貢献	地域社会の一員として、地域活性化や住み続けられる地域づくりに取組みます。 ●積極的な地元採用の実施や、会社全体で地域のイベントに積極的に参加する等、地域活性化に貢献しています。 ●地域清掃活動を定期的実施し、地域の環境美化に貢献しています。	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称です。2015年9月、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された、2030年を期限とする17のゴール(目標)と169のターゲットのことで、2030年までに、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等を是正し、気候変動に対処するなど「誰一人置き去りにしない」ための取組みを掲げています。